



幸手市議会議員  
**本田ようこ**

〒340-0164

幸手市香日向3-10-16

TEL 0480-43-8988

FAX 0480-77-4347

[Twitter: https://twitter.com/yokogaugoku](https://twitter.com/yokogaugoku)[Website: http://honda-yoko.com/](http://honda-yoko.com/)

# 幸せの手

本田ようこ後援会

## 菜の花と桜の精が舞い降りる

## 権現堂は しあわせ王国



さっちゃん

## 桜まつり開催に合わせて、特急列車が臨時停車します！

運転日 2018年3月31日(土)・4月1日(日)・7日(土)・8日(日)



特急スペーシア(けごん)

(下り)

列車	浅草	北千住	春日部	幸手	備考
(特急) けごん 81号	8:09 発	8:21 発	8:43 発	8:54 着	東武日光行
(特急) きりふり 239号	9:08 発	9:21 発	9:43 発	9:53 着	東武日光行



特急きりふり

(上り)

列車	幸手	春日部	北千住	浅草	備考
(特急) きりふり 284号	15:19 発	15:30 着	15:52 着	16:05 着	東武日光発
(特急) けごん 88号	16:49 発	17:00 着	17:22 着	17:36 着	東武日光発

※主要駅のみ表示 ※運賃に加え特急料金が必要です

### 来年の春は新しい駅でお出迎え



線路東側：鉄筋の配筋工事



線路西側：掘削工事

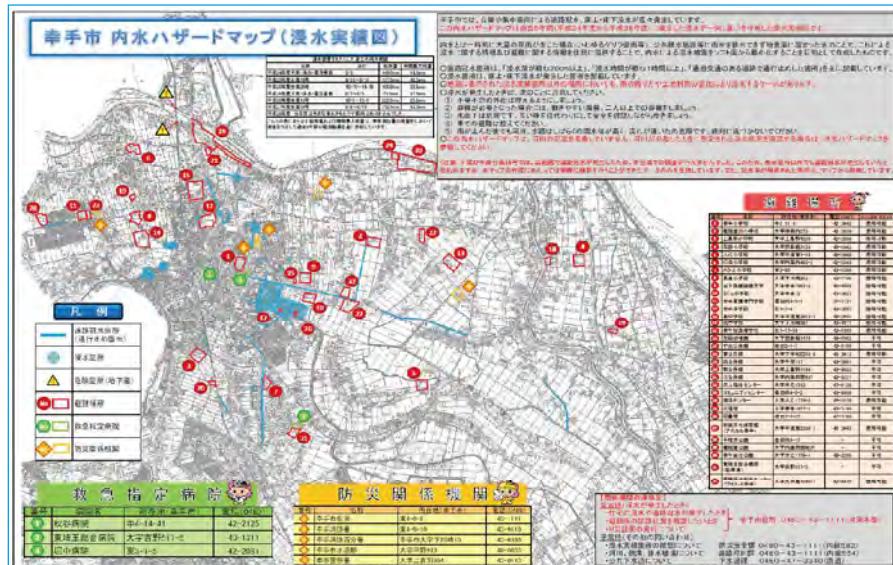


西口駅前ロータリー



駅舎完成イメージ(東口)

### 幸手市内水ハザードマップ(浸水実績図)完成



昨年の9月議会一般質問において、わかりやすい水害浸水ハザードマップを要望したところ、本年2月に平成24年からの浸水実績図を明記した、わかりやすい内水ハザードマップ（上記）を完成させました。  
(全戸配布は31年度の予定)

※幸手市ホームページ内の検索で「内水ハザードマップ」と入力してご覧ください。

工事は順調に進んでいます♪

# みなさん、一緒に想像してみてください。



「先程、震度6の地震がありました。  
安全を確保して、近くの小学校へ避難してください。」

## 避難所には地域のみなさんが大勢押し寄せてきます。



### 避難所開設訓練は・・・

前回の実施内容：①施設（体育館）の外回りの安全確保 ②施設内部、天井や窓ガラス・壁などの安全確認 ③受入準備（通路を確保し、地区ごとのスペース区割りなど） ④住民を受入、誘導訓練。

来年度も同様に市の防災訓練にて実施です。体育館の窓ガラスは強化ガラスや飛散防止フィルムが貼られているので安全です。（一般質問の成果）

#### 《私の思う問題点》

\*市の防災訓練で避難所開設訓練を行うならば、小学校区9地区、市全地区が訓練するには9年かかります。9年にたった1回の訓練で大丈夫でしょうか？ 災害は待ってはくれません。

\*避難所は、高齢者や乳幼児、妊娠婦、障害を持った人、負傷した人、持病のある人、寝込んで動けない人などさまざまです。  
すべての人を地区割りで分けて、本当に不都合はないのでしょうか？  
(もう一度、左の写真を見てイメージを膨らませてください。)



出典：名古屋市緑区役所

## 数日後の避難所の中は



出典：MY J:COM



権現堂の河津桜（3.12撮影）

### 福祉避難所は・・・

福祉避難所は、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、高齢者、人工呼吸器や酸素供給装置等を使用している在宅の難病患者、妊娠婦、乳幼児、病弱者、疾病者のための避難所です。

Q 現在の市指定の福祉避難所と避難時の収容人数は？

A なのはなの里 30人  
さくらの里 30人  
老人福祉センター 50人 計 110人

Q 福祉避難所開設訓練も必要と思うが市の考えは？

A 必要である。市の防災訓練と連携して一緒に実施したいと考えている。

#### 《私の思う問題点》

\*幸手市の福祉避難所の指定は3カ所ですが、現在、社会福祉法人2団体の協力を得て、民間の2施設が加わり5カ所となる予定です。

しかし、たった110人の収容人数は、どう考えても少な過ぎます。

\*要支援者のどのような支援が必要なのか、またはその状態によってなど、どの施設を使うのか分れてくるでしょう。

要支援者は、一色単に福祉避難所に誘導するわけにはいきません。

\*福祉避難所の運営には、災害ボランティア23人とそれぞれの施設の職員がかかわるとの市の答弁ですが、その災害ボランティアの中にはヘルパーが2人、看護師がたった1人です。

医療関係の支援ができる人材を増やさないと要支援者の命は守れません!!

## 本田ようこの訴え

みなさんは「地域のことは地域で守る」という覚悟を持ってください。地域の避難所は地域の人が避難する場所です。このままで困るのは地域の人（みなさん）です。  
そして、福祉避難所は市の責任において、しっかり備えてください。  
福祉避難所を必要とする人々の人数把握や、要支援者の個人情報は市が持っています。  
また、医療関係の支援協定は市でなければ出来ません。  
先ずは、それぞれの立場で動き出しましょう！

